

1 東京都中央卸売市場(平成26年1~12月計)の青果物取扱高について

平成26年の本県の青果物取扱高(金額)は503億円で前年と比較するとやや減(14億円減)であったが、市場全体は5,280億円と前年より約100億円増加したため、本県のシェアは9.5%となり、前年の10.0%を下回った。

本県のコличествоが減となったのは、秋冬期の気温が高く消費が伸び悩み、本県の主力品目である、はくさい、レタス類の価格が著しく下落し、販売金額も前年を大幅に下回ったことが要因と考えられる。

しかしながら、本県産青果物取扱(金額)シェアの順位については、11年連続で全国1位となった。

- 入荷量
  - 市場全体の取扱数量は204万トンでほぼ前年並だった(前年比100%、平年比99%)。
  - 茨城の取扱数量は23万トンでほぼ前年並だった(前年比100%、平年比98%)。
  - 千葉の取扱数量は24万トンで前年より1万3千5百t増だった(前年比106%、平年比102%)。
- 金額
  - 市場全体の取扱金額は5,280億円で前年より96億円増だった(前年比102%、平年比103%)。内訳は野菜3,650億円(前年比101%)、果実1,630億円(前年比104%)。
  - 茨城の取扱金額は503億円で前年より14億円減だった(前年比97%、平年比97%)。取扱金額の内訳は野菜416億円(前年比96%)、果実86億円(前年比106%)。取扱金額が前年を上回った主な品目は、れんこん(5.2億増)、かんしょ(4.2億増)、メロン類(2.7億増)。取扱金額が前年を下回った主な品目は、はくさい(11.3億減)、レタス類(9.0億減)、ピーマン(5.7億減)。
  - 千葉の取扱金額は427億円で前年より5億円増だった(前年比101%、平年比99%)。取扱金額の内訳は野菜385億円(前年比101%)、果実41億円(前年比100%)。

単位:t, 百万円, %

区分		H26年	(シェア%)	前年値	(シェア%)	前年比	平年値	(シェア%)	平年比
数量 (t)	市場計	2,038,418		2,030,919		100	2,059,533		99
	茨城	228,545	11.2%	228,519	11.3%	100	232,328	11.3%	98
	千葉	236,603	11.6%	223,066	11.0%	106	232,528	11.3%	102
金額 (百万円)	市場計	528,029		518,400		102	511,783		103
	茨城	50,253	9.5%	51,656	10.0%	97	51,719	10.1%	97
	千葉	42,668	8.1%	42,173	8.1%	101	43,061	8.4%	99

※平年値は平成20,21,22,24,25年の5カ年平均です。

【参考】12月のみ

- 青果計の入荷量は、前年比では市場全体が102%、茨城が101%だったが、千葉はにんじん、だいこん等の入荷増から前年比115%となった。平年比では市場全体が99%、茨城99%千葉111%であった。
- 10月以降低迷していた野菜価格は、寒波による入荷減及び年末需要増により中旬から回復し、市場全体の12月の平均価格は野菜が平年比105%、果実は111%で、青果計では107%であった。  
(参考) 市場全体の野菜平均価格平年比: 上旬91%、中旬108%、下旬113%  
市場全体の果実平均価格平年比: 上旬107%、中旬113%、下旬113%
- 12月の青果計の金額は市場全体で前年比98%、茨城95%、千葉94%とショートしたが、平年比では、市場全体で106%、茨城101%、千葉104%となった。

単位:t, 百万円, %

12月	市場計			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H26	192,307	137,554	54,753	24,293	23,938	356	30,234	30,159	75
	H25	187,743	131,973	55,770	24,028	23,713	315	26,207	26,165	42
	(前年比)	(102)	(104)	(98)	(101)	(101)	(113)	(115)	(115)	(176)
	平年値※	194,223	136,287	57,936	24,629	24,268	361	27,169	27,118	51
	(平年比)	(99)	(101)	(95)	(99)	(99)	(98)	(111)	(111)	(148)
金額	H26	53,277	33,121	20,155	4,355	3,814	541	4,716	4,597	119
	H25	54,138	34,374	19,763	4,601	4,165	436	5,031	4,964	68
	(前年比)	(98)	(96)	(102)	(95)	(92)	(124)	(94)	(93)	(175)
	平年値※	50,373	31,338	19,034	4,327	3,871	455	4,519	4,452	67
	(平年比)	(106)	(106)	(106)	(101)	(99)	(119)	(104)	(103)	(179)

## 2 東京都中央卸売市場(平成26年12月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※平年値は平成20,21,22,24,25年の5カ年平均です。

野菜類の入荷量は2万4千トン(前年比101%, 平年比99%), 価格は159円/kg(前年比90%, 平年比99%)。

果実類の入荷量は約360トン(前年比113%, 平年比99%), 価格は1,521円/kg(前年比110%, 平年比116%)。

	品目	数量 t		価格 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	れんこん	1,321	93	87	512	121	131	131	676,385	113	114
	はくさい	13,551	97	97	33	49	69	69	443,038	48	66
	みず菜	493	85	83	604	144	140	138	297,273	122	116
	ねぎ	1,245	110	122	215	98	101	104	267,926	108	124
	かんしょ	1,326	117	146	169	122	129	121	224,749	143	189
	ほうれんそう	302	121	100	555	96	117	112	167,815	116	118
	ピーマン	429	91	68	385	96	95	103	165,342	87	64
	こまつ菜	365	113	159	406	115	118	125	148,117	130	187
	<b>野菜類計</b>	<b>23,938</b>	<b>101</b>	<b>99</b>	<b>159</b>	<b>90</b>	<b>99</b>	<b>105</b>	<b>3,814,030</b>	<b>92</b>	<b>99</b>
	いちご類	304	110	100	1,714	112	119	121	521,267	124	119
<b>果実類計</b>	<b>356</b>	<b>113</b>	<b>99</b>	<b>1,521</b>	<b>110</b>	<b>116</b>	<b>112</b>	<b>540,842</b>	<b>124</b>	<b>119</b>	

- ・れんこん 茨城産の入荷量は前年比93%、市場全体では前年比95%となった。12月は茨城産が市場全体の入荷量の94%を占める。入荷量の少なさから茨城産の価格は前年比121%、平年比131%と高く、金額は前年比113%、平年比114%となった。
- ・はくさい 茨城産の入荷量は前年比97%、市場全体では前年比96%の入荷量だった。12月は茨城産が市場全体の入荷量の93%を占める。価格低迷が続き、茨城産の価格は前年比49%、平年比69%、金額は前年比48%、平年比66%となった。
- ・みず菜 茨城産の入荷量は前年比85%、市場全体では前年比81%の入荷量だった。12月は茨城産が市場全体の入荷量の88%を占める。入荷量が減少した中・下旬に価格が反転し、茨城産の価格は前年比144%、平年比140%、金額は前年比122%、平年比116%となった。
- ・ねぎ 茨城産の入荷量は前年比110%。千葉は前年比122%、埼玉は89%、群馬は125%で、市場全体では前年比104%の入荷量となった。茨城産の価格は前年比98%、平年比101%、金額は前年比108%、平年比124%となった。
- ・かんしょ 茨城産の入荷量は前年比117%、千葉は前年比92%で、市場全体では前年比101%の入荷量となった。茨城産の価格は前年比122%、平年比129%と堅調で、金額は前年比143%、平年比189%となった。
- ・ほうれんそう 茨城産の入荷量は前年比121%、市場全体では前年比117%の入荷量となった。茨城産の価格は前年比96%、平年比117%で、金額は前年比116%、平年比118%となった。
- ・ピーマン 茨城産の入荷量は前年比91%。宮崎は前年比92%、高知114%、鹿児島128%で、市場全体では前年比100%の入荷量となった。茨城産の価格は前年比96%、平年比95%、金額は前年比87%、平年比64%となった。
- ・こまつ菜 茨城産の入荷量は前年比113%。埼玉は前年比88%で、市場全体では前年比97%の入荷量となった。入荷量が減少した中・下旬に価格が上がり、茨城産の価格は前年比115%、平年比118%。金額は前年比130%、平年比187%となった。
- ・いちご類 茨城産の入荷量は前年比110%。栃木は前年比106%で、市場全体では前年比108%の入荷量だった。上旬は入荷量が少なく、また入荷が多かった中・下旬はクリスマス等の需要があったことから、茨城産の価格は前年比112%、平年比119%となった。金額は前年比124%、平年比119%となった。